

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H28夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①行政改革	第6次滑川市行政改革実施計画において、市長の一番の優先事項は何か。	行政改革実施計画や同大綱に関するだけでなく、この「語る会」も含め様々な所からご要望等をいただいています。優先事項としては、そういったものの中から、特に市民の要望が強いものを、正確・迅速に行うこととしています。また、緊急性の高いものやすぐに行える事は、速やかに行うこととしています。 難しい案件や、時間のかかるものについても、市の将来を見据え計画等を策定し、取り組んでいます。
②パブリックコメント	各種計画等の策定時のパブリックコメントについて、コメントの件数が多くても一部の人が大量にコメントしており、人数としては少ない例もあるようだが、市民にどれだけ周知されているのか。 また、今後の周知方法については、どのように考えているのか。	パブリックコメントにおいては、多くの方から市では気づかないこと、生活に密着していることなどのご意見をいただいています。 今後も、様々な周知を心掛け、広くご意見をお聞きし、政策等に反映するほか、関係者や市民の代表者に参加いただく審議会等でも意見をお聞きし、施策の柱を作ります。
③職員研修	市職員は、3Sサービスについて、今後どのように職員研修を行う予定なのか。	市は、市内最大のサービス業であるという考えのもと、スピード・スマイル・親切の3Sサービスを心掛けています。 また、窓口には、新人では無く業務に熟知した職員を置くこととしており、サービスの充実を図っています。 今後も各種研修に努めます。
④共生社会への理解	現在、文部科学省が健常者と障がい者が共に生きていくという「共生社会」について推進しているが、当市では特に子どもたちの中であまり理解が進んでいないように思っており、何か取り組んでいることがあれば教えてほしい。 また、子どもの健全育成の中で、社会的弱者と触れあい、そういった方を守り支える心を育む教育が大切なので、行政にも力添え願いたい。	市の取り組みとしては、インクルーシブ教育を学校で進めています。ただし、良い教育・支援は何であるかという観点から、子どもたちの立場に立った教育が重要だと考えています。 それらを含め、スクールカウンセラー等の支援員や保護者の方とも相談し、さらなる共生社会の理解に向け、社会教育やボランティアでの体験を検討していきたいと思えます。
⑤消防分団	東部消防組合が設立されてから市内消防団の分団においてサイレンが鳴らなくなった。 また、同組合設立後、火災発生時、当該地区の分団にしか出動命令がかからなくなった。 分団員は実務経験が重要であり、市の安全・安心のため、サイレンの鳴動のほか、出動命令の件も併せ消防のあり方について市の見解を聞かせてほしい。	東部消防組合は設立から2年であり、組織としての体制がまだとれていません。各市町村間で少しずつ慣らしていこうとしていますが、運用については、悩みが多いところです。消防団員の育成、市民の安心・安全が重要なことから、今後も意見を伝えていきます。 サイレンについては、各分団において手動で鳴動いただいております、自動で行うとなるとかなりの費用がかかりますが、改修したいと思います。
⑥少子化対策	市の総合計画においても、人口減少は避けられないことを前提とし、策定していると思うが、そういった時代に向け安定した税収入の確保について、力を入れている取り組みがあれば教えてほしい。	税収確保の取り組みの詳細については、改めてと思いますが、人口減少対策として、結果は時間が経たないと分かりませんが、第2子の壁を取り除いて子どもを産んでほしいという思いから、子どもは将来の滑川を背負っていくことから、所得制限を設けず第2子保育料等を完全無料化したものです。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H28夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦定住施策	子どもが小学校に入る時期になると、子どもの交友関係等によりその地に定住することが多いと聞く。 第2子保育料等無料化を始め、未就学児に対する施策は手厚いので、今後は小・中学生保護者の定住をターゲットとした、例えば給食費の無料化などを行えないか。	国における子どもと老人にかける予算の比率は、1:2といわれており、子どもの教育にかける施策・予算は、欧米と比べかなり遅れているといわざるを得ません。市での小学校給食費の無料化については、理想としては素晴らしいですが、現実的には厳しいかと思われます。
⑧多世代交流	幼稚園のPTA活動として、様々な世代の人と色々な交流を行っているが、20代後半の世代の人にはお目にかからない。 市として、その世代に対し、訴えていることはあるか。	「市長と語る会」においても、乳幼児保護者を対象に開催した会の参加者が少ないです。 恐らくその世代の方は政治に対する関心が低いのではないのかと思われますが、今後はその世代のご意見もいただける方法を考える必要があるかと思えます。
⑨主権者教育	選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、地域の行事への参加や政治への関心を高めるため、小・中学校の時から定期的な授業の一環とするなど、政治・選挙に関する取り組みを、市として全国的に先駆けて行えば注目が集まるのでは。	市では、小学生を対象に、毎年地域の課題を見つける機会を持っているほか、今年度は子どもサミットとして児童に市議会の見学を行っていただくこととしています。全国的には、アクティブラーニングが推進されており、市としても、自立的に活動し、自ら考え議論し、学ぶということを両中学校を中心に各小学校でも行っています。今後、学校図書館での新聞の配置を進めると共に、地域の課題に関心を持ってもらうため、小学校で社説を読むことを習慣化したり、社会と触れ合う機会を設けていけたらと考えています。
⑩親への支援	大学に行く子を持つ親を支える支援として市民税無料化などの支援を。	高校は県、大学は国からの支援の基盤があるものと考えていますが、市での支援としては、高校・大学生を対象とした無利子で奨学金の貸し付けを行っています。
⑪商業支援	市では産業の発展に偏りがある。工業は好調だが、商業は大変である。 例えば新聞販売は、年々購読者が減って苦戦しており、飲食業においては、富山や魚津での出店や、利用される市民が多い。 また、サービス業全般の従業員不足もあり、商業、中小零細企業への応援をお願いしたい。	あらゆる業種がバランス良く発展すれば良いと思っていますが、商業が弱いというのは確かにあります。 商業関係の方に対する施策も持っていますが、あまり利用されない部分もありますので、対象となる方とも話し合わなければいけません。 また、昨年プレミアム飲食券や飲食店マップを発行し、市内の飲食店を知っていただきました。 今後も、商業や買い物弱者の応援、中滑川駅前の利活用等について、商工会議所等の皆さんと相談しながら進めていきたいと思えます。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H28夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑫海上観光クルーズ船	<p>海上観光クルーズ船について、4月の就航からの利用者を聞いてみると、市の関係者や小学校児童が多く、一般の方の利用が少ないと思う。また、龍宮祭りでの海上花火大会においてクルーズ船が出なかったのは寂しいことである。</p> <p>サンセットクルージング等、既に実施しているのにそれを知らない方もいるので、看板設置などでさらなるPRをしてほしい。</p> <p>また、今後はどのような周知・船の利活用を考えているのか。</p>	<p>海上クルージングについては、これまでのPRが弱かったこともあり、今後、夏休み、秋の遠足の利用等について、市・観光協会・運営会社等でPRを考えていますが、まずは市民の皆さんに乗船いただきたいと考えています。</p> <p>また、海岸のまちとの交流として、氷見市へも行っており、県民の皆さんにも乗船いただきたいと考えていますので、今後は積極的にPRしていきたいと思えます。</p>
⑬駅前再開発	<p>資料1にある、駅前再開発調査費の100万円はどの箇所に係るものか。</p> <p>特に、市営駅前住宅の箇所はスペースが狭いので、有効活用を考えてほしい。</p>	<p>滑川駅前・中滑川駅前の両方に係るものですが、再開発調査も含め、現在庁内で検討中であり、市で基本的な方向性が出次第、市民の皆さんのご意見もお聞きしたいと思えます。</p> <p>まずは調査から始め、失敗しないよう、慎重に考えます。</p>
⑭工業団地	<p>資料1にある、工業団地の造成に関する予算は企業誘致を目的としたものなのか。</p>	<p>予算の内容としては、安田工業団地第4期の事業で、企業誘致のための造成工事に関する費用ですが、造成地の一部で陸砂利の深掘りがあり、土地利用に影響が出ています。</p> <p>しかし、市内企業の増設、市外企業の新規建設のお話もあることから、ますますものづくりのまち滑川をPRできると思われます。</p>
⑮行田公園の蛍	<p>行田公園内で数は少ないが蛍が見られるようになった。</p> <p>同公園内はエサが少ないのかもしれないが、「ひかりのまち」として蛍のPRができるまで増やすようにできないか。</p>	<p>蛍の育成については、田中と東加積の両小学校でビオトープを整備しており、小森地内においても、鑑賞会を行えるほど生息していることから、蛍を育てるノウハウがあることから、がんばりたいと思えます。</p>